特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) 【PCT36 条及びPCT規則 70】

出願人又は代理人 の書類記号 APCT-6	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。		
国際出願番号 PCT/JP2004/014987	国際出願日 (日. 月. 年) 04. 10. 2004	優先日 (日.月.年) 05.12.200	
国際特許分類(IPC) Int.Cl. F16H61/2	8 (2006. 01), F16H61/34 (2006. 01)		
出願人 (氏名)以名称) 爱知機械工業株式会社			

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い 送付す る。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. 図 附属書類は全部で 5 ~ージである。
☑ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の報 囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した整替え用紙
b. □ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充機に示すように、億子形式による配列表又は配列差に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
mont we will be to the control of the control
☑ 第Ⅰ欄 国際予備審査報告の基礎
□ 第 Ⅱ 欄 優先権
□ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
第IV欄 発明の単一性の欠如
図 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付
けるための文献及び説明 「」 第VI標 ある種の引用文献
□ 第Ⅵ欄 める性の引用文献 -
□ 第7世間 国際出願に対する意見
L. Mar Des

国際予備審査の請求書を受理した日 05.10.2005	国際予備審査報告を作成した日 03.04.2006	- u. ⁻
名務及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官 (権限のある職員) 鈴木 充	3 J 8 9 1 6
東京都千代田区霞が開三丁目4番8号	電話番号 03-3581-1101	内線 3328

様式PCT/IPEA/409 (安紙) (2005年4月)

第	I欄	報告の基礎	
Γ,	-	悟に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎と	
*		出版時の官語による国際出題	: UK.
		出願時の言語から次の目的のための言語である	――――――――――――――――――――――――――――――――――――
1		□ 國際關查 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))	
		□ 国際公開 (PCT規則12.4(a))	
Ì		□ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3	(a))
2.	٥.	の報告は下記の出願書類を基礎とした。 (法第6名	: (PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され
	た会	含替え用紙は、この報告において「出願時」とし、	この報告に続付していない。)
		出願時の国際出願書類	
l	C a	NO 4m ste	
		明細書	
		第 1, 4-30 ページ、	出願時に提出されたもの
		第 2, 3 ページ*	、05.10.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
ľ	_	第 ページ*	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	Z	請求の範囲	
		第 <u>4,10,12-14</u> 項、	
i		第	PCT19条の規定に基づき補正されたもの 05.10.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第	一一一一一一 付けで国際子偏審主機関が受理したもの
	Z	図面	
		第 1 - 2 6	出願時に提出されたもの
		第 ページ/図 *、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
		第	
		配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充機を参照すること。	•
		配が一級する相だ例を参照すること。	
3.		補正により、下記の書類が削除された。	·
		□ 明細書 第 ■ 請求の範囲 第 <u>2,7.8</u>	<u></u> ページ
		図	項 ページ/図
	ļ	□ 配列表 (具体的に記載すること)	
		□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ること)
	•	•	
4.		この報告は、補充欄に示したように、この報告に	添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を紹
		えてされたものと認められるので、その補正がさ	れなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
	_	即	ベージ 項
		請求の範囲 第 図面 第	
		□ 配列表(具体的に配載すること)	ページ/図
	Ĭ	配列表に関連するテーブル(具体的に配載する)	3 こと)
		•	
			\
* 4 .	. 121	該当する場合、その用紙に"superseded"と配入。	されることがある。

様式PCT/IPEA/409 (第1欄) (2005年4月)

	進歩性又は産業上の利益 は付ける文献及び説明	刊用可能性についての法第 12 条(P C T 35 ≶	条(2)) に定める見解、
1. 見解		·	
新規性(N)	ā	求の範囲 1, 3-6, 9-14	
	•	求の範囲	無
進歩性 (IS) . 辭	求の範囲 1,3-6,9-14′	· · 有
) in	求の範囲	#
産業上の利用	可能性(IA) 前	求の範囲 1, 3-6, 9-14	
	詩	求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

請求の範囲1、3~5に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して進歩性を有する。当該各文献には「リバースシフタのニュートラル位置が、アクチュエータロッドに対して垂直位置よりも一方の側に回動させた位置に設定され、かつ、該リバースシフタのリバース位置が、該アクチュエータロッドに対して垂直位置よりも他方の側に回動させた位置に設定されている」点、が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないものである。

請求の範囲 6,9-14に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して進歩性を有する。当該各文献には「駆動制御手段は、第二変速段へのシフト操作が行われた際に、第二変速段のニュートラル位置としてシフターがアクチュエータロッドに対して垂直位置よりも一方の側に回動させた位置となるように該アクチュエータを制御するとともに、第二変速段の変速位置として該シフターがアクチュエータロッドに対して垂直位置よりも他方の側に回動させた位置となるように該アクチュエータを制御する」点、が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないものである。

様式PCT/IPEA/409 (第V欄) (2005年4月)